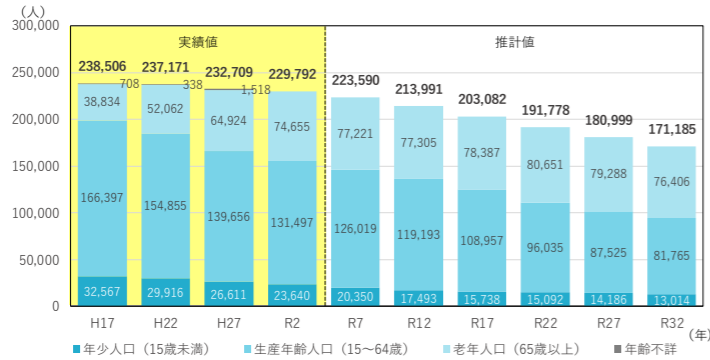


令和7年度版 春日部市公共施設白書 概要版

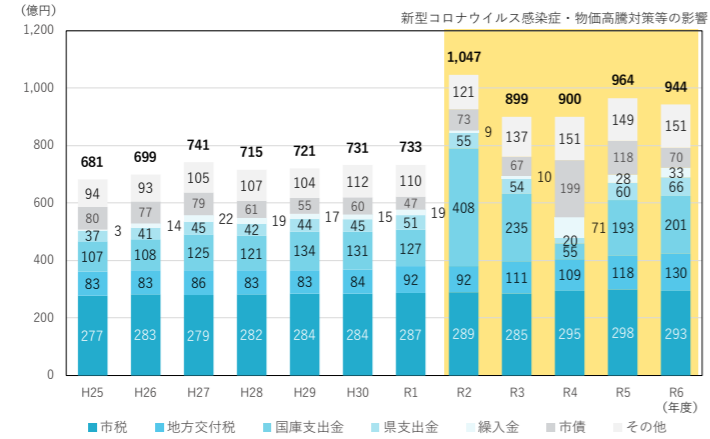
6つのデータは、春日部市の“いま”を示しています。公共施設の“みらい”について興味をもって、他人事とせず、「自分ごと化」を図り、みんなで一緒に考えましょう。

データ1 年齢3階層別人口の推移



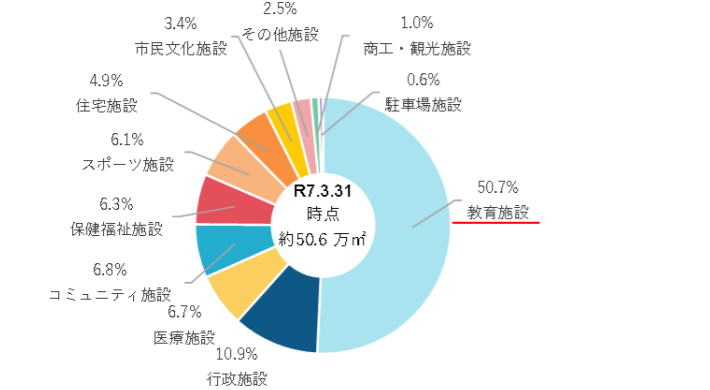
平成17年から令和2年にかけて、全体人口、年少人口、生産年齢人口が減少し、老年人口が増加しています。

データ2 歳入の推移



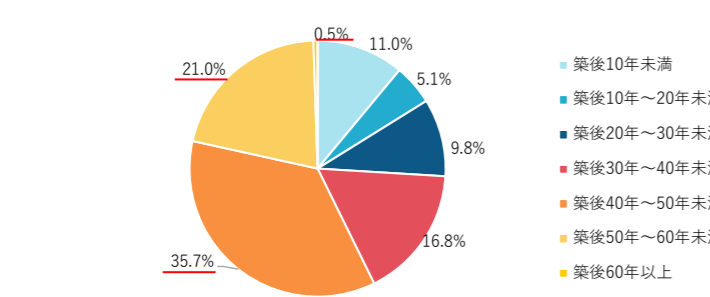
市税は平成25年度以降、若干の増減はあるものの概ね横ばい傾向となっています。今後も減少する可能性もあります。

データ3 公共建築物延床面積の割合



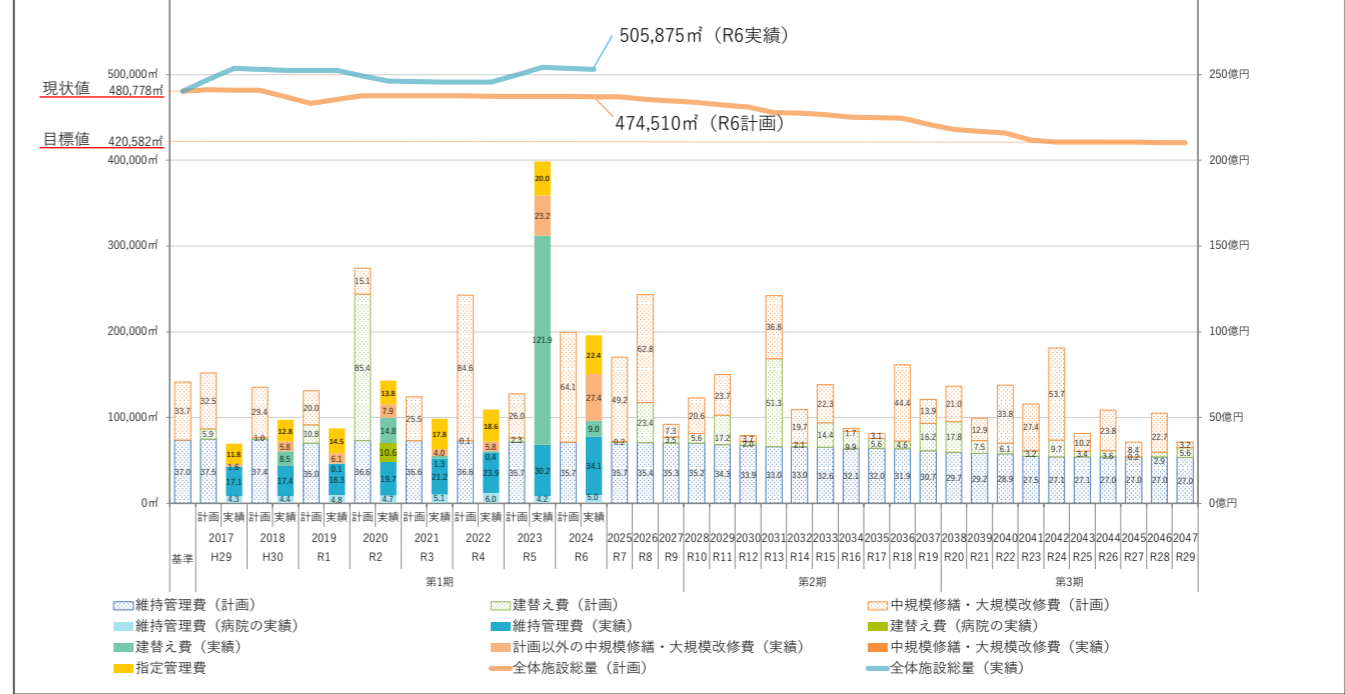
公共建築物の延床面積の50.7%を教育施設が占めています。

データ4 築年数からみた延床面積比率



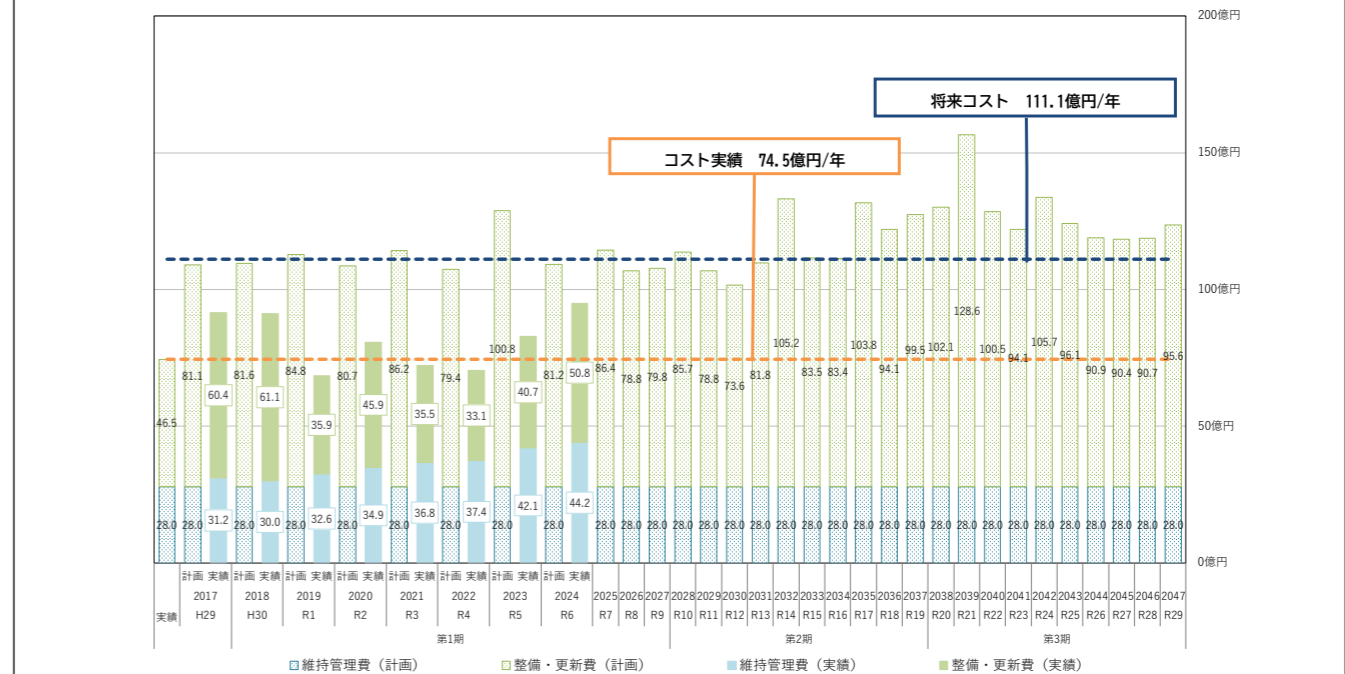
築年数が40年以上の公共建築物が57.2%を占めています。

データ5 公共建築物の全体施設総量とコスト



【算定条件】
 ※コスト（計画）は、春日部市公共施設マネジメント基本計画（P60）に掲載されている内容となります。維持管理費においては、その他事業運営経費を除いた費用となっています。
 ※コストは、財務会計システムデータを元に算出しているため、計画と算出条件が異なります。
 ※中規模修繕・大規模改修や建替えが複数年にまたがる場合は、工事完了年度に費用を計上しています。なお、計上されている費用は、工事が完了している事業のみとなります。

データ6 インフラ施設のコスト

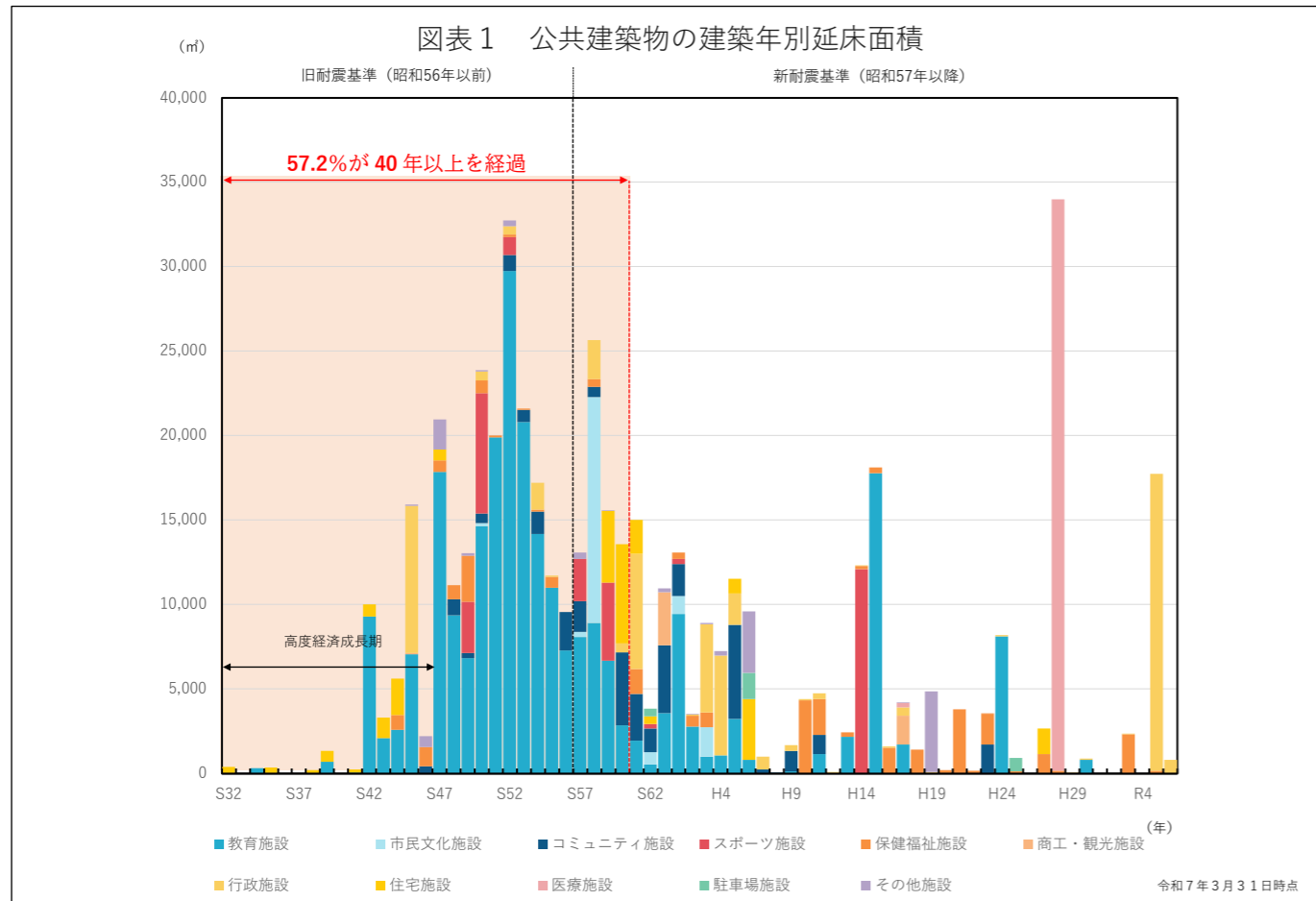


【算定条件】 ※計画値は、春日部市都市インフラマネジメント計画
 ※整備・更新費には、新規整備費も含まれています。

1. 年度別の整備状況

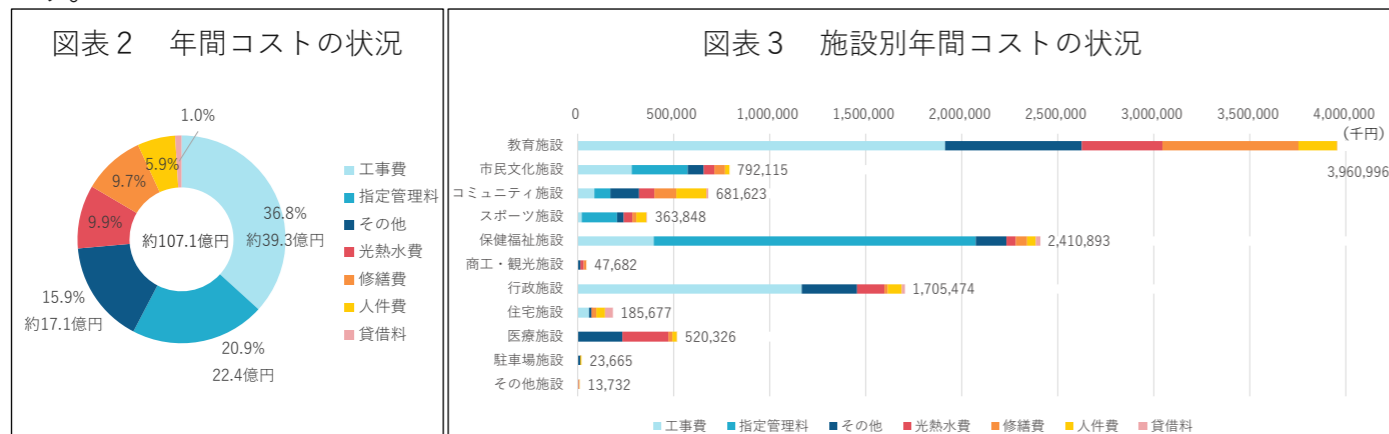
◆年度別の整備状況は、築後40年以上が全体の約57.2%を占めています。

公共施設マネジメント基本計画では、40年、60年、80年で大規模改修、中規模修繕、建替えを位置づけているため、改修や建替えの対象となる建物が増加しています。



2. 年間コストの状況

◆年間コストは、令和6年度において約107.1億円となっており、工事費が約39.3億円(36.8%) 指定管理料約22.4億円(20.9%) その他約17.1億円(15.9%)の順になっています。なお、大分類ごとの年間コストは、教育施設が約39.6億円、保健福祉施設約24.1億円、行政施設約17.1億円の順になっています。



※指定管理者制度による運営施設の光熱水費・人件費は指定管理料に含まれます。

※人件費は、施設維持管理に関する人件費のみ計上。ただし、指定管理施設は運営費に関する人件費も含む。

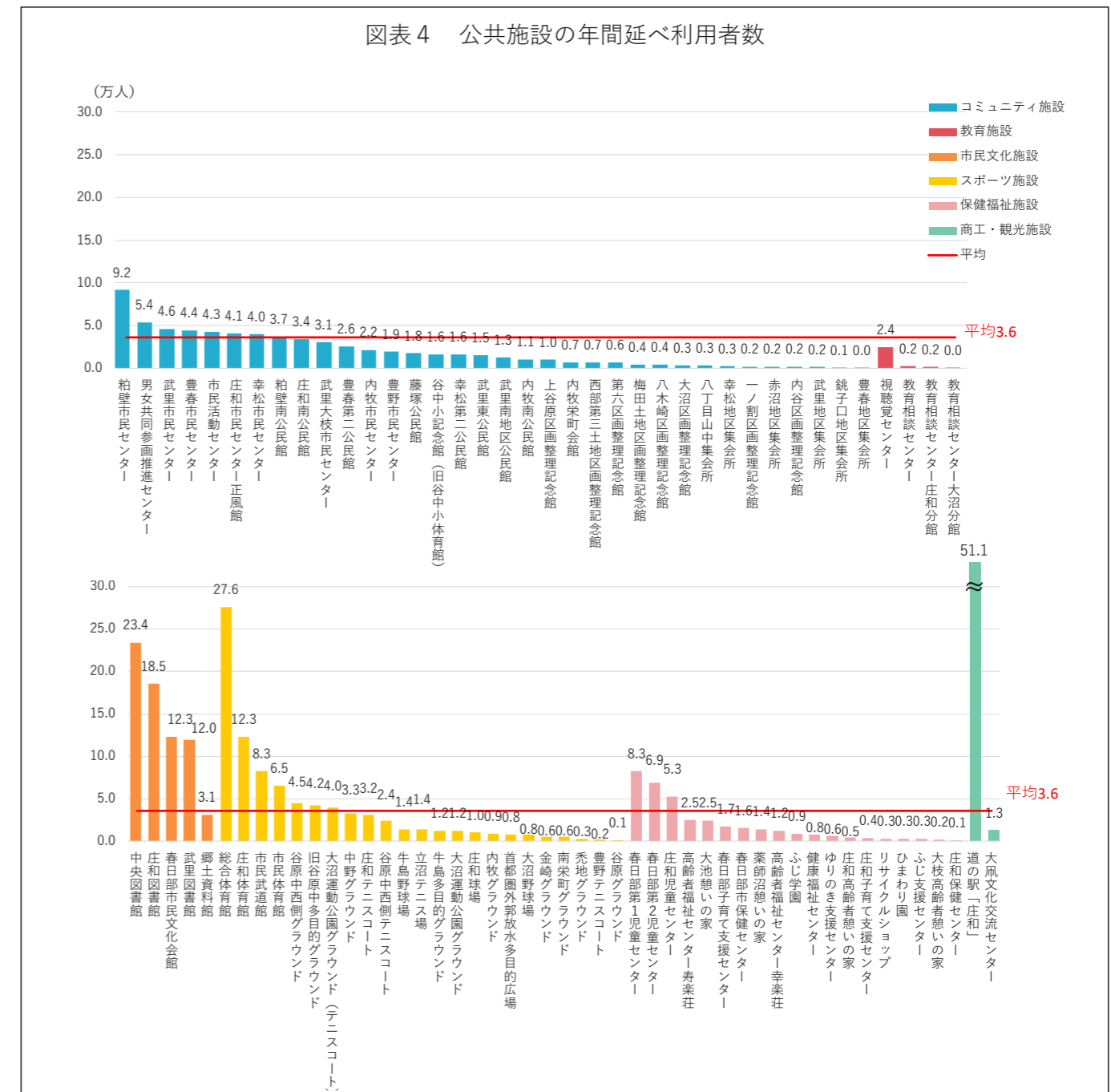
※その他には施設管理経費とその他経費が含まれます。

令和6年度実績

3. 年間利用者数の状況

◆年間利用者数は、令和6年度において道の駅「庄和」（約51.1万人）が最も多く、総合体育館（約27.6万人）、中央図書館（約23.4万人）の順となっています。

◆施設分類ごとに年間利用者数が最も多い施設は、コミュニティ施設では粕壁市民センター、教育施設では視聴覚センター、市民文化施設では中央図書館、スポーツ施設では総合体育館、保健福祉施設では春日部第1児童センター、商工・観光施設では道の駅「庄和」となっています。



※年間利用者数500人未満の施設は0.0と表示されます。

令和6年度実績

※図表で使用している数字は、端数処理の関係でその合計が合わない場合があります。

令和7年度版 春日部市公共施設白書 概要版

発行：春日部市

編集：総合政策部 公共施設事業調整課

作成：令和8年3月

〒344-8577 春日部市中央七丁目2番地1 電話：048-736-1111 (代表)